

令和 2 年 6 月 15 日現在

機関番号：34315

研究種目：若手研究(A)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H05947

研究課題名(和文) アジア アフリカ諸国間の模造品取引に関する文化人類学的研究 携帯電話を事例に

研究課題名(英文) Anthropological Study on Informal Trade of Counterfeit between Asia and Africa:  
Case Study on Mobile Phone

研究代表者

小川 さやか(Ogawa, Sayaka)

立命館大学・先端総合学術研究科・教授

研究者番号：40582656

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、中国・香港とアフリカ諸国間の模造品を含むインフォーマルな取引システムを明らかにし、草の根のグローバル化のダイナミズムをめぐる議論を再考することにある。本研究の成果は大きく3つに分けられる。第一に、輸入元の中国・香港で製造された模造品や偽物のアフリカ諸国における消費文化を実証的に明らかにし、海賊行為とインフォーマリティとの関係をめぐる議論を再考した。第二に、ICTを利用したシェアリング経済の議論を参照しながら、香港とアフリカ諸国間のインフォーマルな取引システムの独自性を論じた。第三に、香港に居住するタンザニア人組合を事例に、移民による市民社会組織をめぐる議論を再考した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、第一に、アフリカ諸国における模造品や偽物の消費文化を明らかにし、人類学的な消費文化論に貢献したことにある。第二に、先進諸国を中心に議論されてきたシェアリング経済と類似した仕組みが中国とアフリカ諸国間のインフォーマルな取引でも構築されていることを明らかにすると同時に、既存のシェアリング経済論がもつ可能性と限界を示唆した点にある。そして第三に、強い信頼や厳密な互酬性を基盤としないう「コミュニティ」のあり方を提示したことにある。単著『「その日暮らし」の人類学』(光文社)と『チョンキンマンシヨンのボスは知っている』(春秋社)を通じて社会に広く成果を還元した。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study is to examine the informal trading system between China /Hong Kong and African countries dealing with commodities, including counterfeiting and Knockoffs, to reconsider the debate on the dynamics of "globalization from below". The findings of this study can be divided into three categories. First, this study reconsiders the relationships between "the piracy" and "the informality" by analyzing the consumption culture of counterfeits and knockoffs in African countries. Second, with reference to the debate on the ICT-based sharing economy, this study reveals the uniqueness of the informal trading system via Social media between Hong Kong and African countries. Third, using the case of Tanzanian unions in Hong Kong, this study rethinks the debate on civil society organization by immigrants.

研究分野：文化人類学

キーワード：香港 タンザニア インフォーマル取引 シェアリング経済 模造品 中古品 市民社会 信用

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

今世紀に入り、アフリカ諸国をはじめとした発展途上国と中国との草の根のインフォーマル取引が急速に活発化している。中国に押し寄せた取引人は知的財産権や入管法、商法等に抵触しながら、コピー商品や偽物をふくむ多様な商品を買付け、母国へと輸送している。近年、この取引や取引人を対象とした研究が台頭した。これらの研究は、(1)移民・ディアスポラ研究(Cf. 栗田 2011; Bodomo 2012)と、(2)グローバル経済の動態に関する研究(Cf. Mathews, Ribeiro and Vega 2012)に大別できる。本研究は後者(2)に位置づく。後者の研究群は、トランスナショナルなインフォーマル取引を「下からのグローバル化」や「非覇権的な世界システム」などと呼称し、多国籍企業が先導する主流派のグローバル経済と対比することで、この取引の勃興がいかに新しい経済秩序を形成しつつあるかを論じるものである。たとえば、ゴードン・マシューズとグスタヴォ・リベイロ、カルロス・ヴェガらは、下からのグローバル化は、「より徹底的に新自由主義化」した資本主義経済の秩序を形成しつつあること、しかしこの経済は「より人間的な」新自由主義の論理で動いており、主流派のグローバル経済が生み出している問題や不公正を解決する場となっていることを主張する(ibid:7-13,223-228)。

これらの議論では、従来のインフォーマル経済研究で問われてきた「法的な違法性 illegal」と「道義的な違法性 illicit / 合法性 licit」の違いが再考されている。たとえば、路上商人は税金を支払わず、道路交通法に違反する「不法労働者」であるが、多くのアフリカ住民は、不条理な政策を押し付ける政府に不服従の姿勢を示してセルフヘルプで生きる貧しい路上商人をドラッグの密売人と同じような「犯罪者」とはみなさない。同様にコピー商品や偽物の取引も、貧しい消費者が最新の技術や流行にアクセスしたり、フォーマル経済から排除された者に仕事を与え、埋もれていた才能と自信を解放したという点で道義的に認められているとする。同じことは中国の山寨(コピー/ゲリラ)文化を擁護する議論でも指摘される(阿 2011; Lin 2011)。

しかしながら、先行研究では「下から/上から」「覇権的/非覇権的」「山寨/ブランド」の関係に注目したため、「下からのグローバル化」内部の多様性を不問にしてきた。中国のコピー・偽物の製造業者・販売人、アフリカ系取引人・消費者は、研究者が主流派の経済システムとの関係で措定した「道義性」を共有しているのだろうか。そこで本研究では、携帯を主たる事例に、生産から消費の各プロセスでコピーや偽物とそれめぐる経済行為にいかなる価値(道義性)が付与され、それが異なるアクター間でいかに折衝・交渉されているのかを明らかにすることを通じて、模倣や海賊行為、下からのグローバル化のダイナミズムを根本的に再考しようと着想した。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、中国・香港とアフリカ諸国間(特にタンザニア)の模倣品を含むインフォーマルな取引システムを明らかにし、草の根のグローバル化のダイナミズムをめぐる議論を再考することを目的に調査を始めた。申請当初は携帯電話を事例とすることとしたが、2016年6月にタンザニアでは、コピー携帯電話の輸入規制が開始され、コピー携帯電話のビジネスそのものが不調となった。そのため、以降は携帯電話に関わらず、広くコピー商品や模倣品、中古品を含む中国・香港とアフリカ諸国間(特にタンザニア)で商われる商品を対象として研究を進めた。

また、中国・香港に居住するアフリカ系取引人・ブローカー(仲介業者)の調査を開始した後、彼らがSNSをはじめとしてインターネット上の仕組みを介してアフリカ諸国の消費者・ブローカーとのあいだで取引を展開していること、独自の送金システムを構築していることなどが明らかになった。彼らの取引システムが先進諸国で議論されてきたシェアリング経済と近似する点があったことから、本研究では「下からのグローバル化」内の経済のしくみを、シェアや信頼の論理、それを支える「コミュニティ」のあり方に注目して検討することも課題とした。

### 3. 研究の方法

本研究に関わる調査は、文献研究と香港・中国(広州市)およびタンザニアでのフィールド調査に区分される。フィールド調査は、2016年10月から2017年3月(香港・広州市)、2017年8月(タンザニア)、2018年2月(香港)、2018年5月(香港)、2019年2月3月(香港)、2020年2月(タンザニア)で実施した。

### 4. 研究成果

本研究の成果は大きく3つに分けられる。第一に、輸入元の中国・香港で製造された模倣品や偽物のアフリカ諸国における消費文化を実証的に明らかにし、海賊行為とインフォーマリティとの関係をめぐる議論を再考した。第二に、ICTを利用したシェアリング経済の議論を参照しながら、香港とアフリカ諸国間のインフォーマルな取引システムの独自性を論じた。第三に、香港に居住するタンザニア人組合を事例に、移民による市民社会組織をめぐる議論を再考した。以下にそれぞれの成果について記述する。

#### (1) 模倣品・偽物の製造とアフリカ諸国における消費文化に関する研究

「試しにやってみて失敗したら転戦する」といったかたちで動く中国の模倣品・コピー商品の製造業者の行動原理と、模倣品やコピー商品を買付けにでかける取引人たちの流通システムを駆動させる行動原理の類似性を明らかにした。また、アフリカ諸国におけるコピー商品や模倣品の消費行動を分析し、彼らが「偽物」と「オリジナル」、「完璧な模倣品」と「低品質の模倣品」

とをどのように受容するかを、アフリカ市場における法的な違反性(illegality)と道義的な違反性/妥当性(licit/illicit)のねじれに着目して論じた。さらにコピー商品を含めた携帯電話の爆発的な普及と、携帯電話の口座を介した送金システム(M-Pesa)の浸透が従来の貸し借りの関係にもたらした変化を考察し、電子マネーが「借り」をまわす媒体として利用されることで「誰もが誰かに借りをもつと同時に誰かに貸している」という互助の論理を拡大していることを明らかにした。

### (2) 香港とアフリカ諸国間のインフォーマル取引のしくみに関する研究

香港・中国在住のアフリカ系商人が、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(以下、SNS)と携帯口座による送金システム(一種の地下銀行)を駆使してアジアとアフリカ諸国をつなぐ独自の流通システムを構築していること、その仕組みは近年ICTやブロックチェーン等の発展に伴って先進諸国で注目を集めるようになったシェアリング経済やフリー経済と近似する側面があること、しかし専門的なビジネスプラットフォームとは、取引の信用を担保する論理が異なっていることを明らかにした。

現在、香港在住のアフリカ系商人たちは、香港でみつけた商品画像を、FacebookをはじめとするSNSに流し、それにより高い価格をつけたアフリカ諸国在住の商人・消費者に販売するという方法で取引を行っている。しかし彼らが築いた「シェアリング経済」のしくみでは「遊び」と「労働」、「経済的な利益追求」と「分配・シェア」といった価値の両立が巧みに図られており、ユーザーどうしの格付けシステム(評価経済)を駆使した信用創出ではなく、日常的な出来事や人となりをしめすSNSへの投稿を参照しながら取引相手の信頼をそのつど推し量る方法が採用されている。それゆえ取引相手からの信頼を得るためにも香港のアフリカ系社会において日々自発的な他者への支援をすることが目指されていた。このようなビジネスにおける利己的な利益追求の関心と香港のアフリカ系社会における利他的な行為の重要性が組み合わさる流通システムが築かれることで、中国・香港とアフリカ諸国間を横断した巨大なセーフティネットが形成されていた。本研究では、これらの成果を元に市民社会論を基盤とする専門的なビジネスプラットフォームを通じたシェアリング経済の排他性や問題について論じた。

また、こうした流通システムの形成が、移民・難民としての生存戦略だけでなく、中国・香港とアフリカ諸国間の人口動態にも大きな影響を与えていることも明らかにした。

### (3) 香港在住のタンザニア人による市民社会組織に関する研究

香港在住のタンザニア人による組合活動の実態とそれがどのような独自の論理で動く市民社会組織となっているのかを、既存の市民社会論を批判的に参照しつつ検討した。香港在住のタンザニア人たちは、不測の事態における相互扶助やホスト社会との軋轢の解決、香港・タンザニア両国の政策変化等の情報交換を目的に香港タンザニア組合を結成している。同組合のメンバーシップは不定形であり、その中には流動的に香港とタンザニアを行き来する取引人が含まれている。さらに同組合には不法滞在者や不法労働者なども含まれている。そのためメンバー間の組合への持続的で均等な貢献に基づいた互酬性を組合の原動力とすることは困難であった。

本研究では、彼らが組合への貢献の程度や困難に陥った個人的な背景を問うことなく支援しあう論理をインターネット社会と「ついで」の論理に着目しながら検討した。それを通じて、彼らの組合活動は、互酬性や信頼を基盤とする市民社会組織の論理よりも、投擲的な相互行為を基盤とするインターネット社会や、「ついで」を組織してシェアリング経済を駆動させる論理と類似していることを明らかにした。

また彼らがSNSで紡いでいる断片的な情報からいかにして被調査者によるオートエスノグラフィが生成するかを認知資本主義の議論を援用して論じ、インターネット時代のエスノグラフィのあり方についても検討した。

### [引用文献]

阿 甘、中国モノマネ工場、生島大嗣監修、徐航明・永井麻生子訳、日経BP社、2011。

Bodomo, Adams, *Africans in China: A Sociocultural Study and Its Implications on Africa-China Relations*, Cambria Press, 2012.

Mathews, G., G.L.Ribeiro and C.A.Vega, *Globalization from Below: The World's Other Economy*, Routledge, 2012.

栗田 和明、アジアで出会ったアフリカ人 タンザニア取引人の移動とコミュニティ、2011。

Lin, Yi-Chieh Jessica, *Fake Stuff: China and the Rise of Counterfeit Goods (Routledge Series for Creative Teaching and Learning in Anthropology)*, Routledge, 2011

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計33件（うち査読付論文 14件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 84(2)
2. 論文標題 SNSで紡がれる集合的なオートエスノグラフィ 香港のタンザニア人を事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 172-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.14890/jjcanth.84.2_172">https://doi.org/10.14890/jjcanth.84.2_172</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Sayaka Ogawa	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 The Logic of "Open Reciprocity" in the Tanzanian Union in Hong Kong and China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Review of Cultural Anthropology	6. 最初と最後の頁 297-324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 小川さやか	4. 巻 74(11)
2. 論文標題 気づかないふりで回す信頼と友情	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 314-315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 中沢新一、小川さやか、松村圭一郎	4. 巻 94
2. 論文標題 そして人類学が残る グローバル、A I時代のなかで	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神奈川大学評論	6. 最初と最後の頁 6-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 91
2. 論文標題 世界が存在する偶然を	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アステイオン	6. 最初と最後の頁 214-217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 83巻1号
2. 論文標題 序にかえて 現代的な消費の人類学の構築に向けて (特集: 現代消費文化を捉える人類学的視点の探求)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 46-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 414号
2. 論文標題 香港の華麗なる全身商売人 (特集: Self-Fashioning from Asia あらかじめ決められない流儀 (スタイル) へ)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 STUDIO VOICE	6. 最初と最後の頁 130-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 3号
2. 論文標題 緩慢な移動を可能にする海賊システム 中国・香港におけるアフリカ系交易人を事例に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 環太平洋文明研究	6. 最初と最後の頁 122-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 11月号
2. 論文標題 「他動力」 香港のタンザニア人たちの多動力	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 148-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 11月号
2. 論文標題 タンザニアの気づいてもらえる仕組み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 公研	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 73巻
2. 論文標題 自生的秩序のつくりかた 香港のタンザニア人によるSNSを通じた交易 (特集アナキズムとキリスト教)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 52巻
2. 論文標題 ついでに親切が築き上げるセーフティネット	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 作業療法ジャーナル	6. 最初と最後の頁 1107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 12巻
2. 論文標題 後ろめたくないお金は実現可能か	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 仕事文脈	6. 最初と最後の頁 10-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 最終回 チョンキンマンションのボスは知っている	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第11回 人生は商機とともに	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第10回 昼間のビジネス、夜のビジネス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第9回 成功する者、転落する者	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第8回 商売は後からついてくる 「その人らしさ」でつながるネットワーク	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第7回 シェアリング経済を支えるTRUST	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第6回 客はプロローカーのもの、それ以外はみんなのもの	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第5回 ビジネスに必須なのは「信頼の欠如」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第4回 「ついで」が構築するセーフティネット	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 55
2. 論文標題 Impact of Imported Chinese Furniture on the Local Furniture Sector in Arusha City, Tanzania: Focusing on the Strategies of Furniture Makers for Using Indigenous Timbers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 African Study Monographs	6. 最初と最後の頁 27-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.14989/230163">https://doi.org/10.14989/230163</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 小川 さやか	4. 巻 82
2. 論文標題 タンザニアにおける路上商人の組合化とインフォーマル性の政治-抗争空間論再考	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 182~201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) <a href="https://doi.org/10.14890/jjcanth.82.2_182">https://doi.org/10.14890/jjcanth.82.2_182</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 45
2. 論文標題 オートエスノグラフィに溢れる根拠なき世界の可能性 (特集エスノグラフィ: 質的調査の現在)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 123-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 824
2. 論文標題 東西南北 クリーンな政治と「融通」のあいだ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 青淵	6. 最初と最後の頁 20-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 -
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第1回 ポスとの出会い	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 -
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第2回 チョンキンマンションのタンザニア人たち	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 -
2. 論文標題 チョンキンマンションのボスは知っている 香港のアングラ経済と日本の未来 第3回 思慮ぶかき無関心	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Web春秋	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sayaka Ogawa	4. 巻 -
2. 論文標題 The System of Circulating Debt: The Money Transfer System of Mobile Phones in Tanzania	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Inaga Sigemi ed. A Pirate View of World History: A Reversed Perception of Order of Things From a Global Perspective (International Research Center for Japanese Studies)	6. 最初と最後の頁 47-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 2月号
2. 論文標題 歓待と無関心のあいだ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 考える人	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 86
2. 論文標題 不透明な未来を見据えた「ゆとり」を育む社会関係	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 教育と文化	6. 最初と最後の頁 38~43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川さやか	4. 巻 -
2. 論文標題 コピー・ケータイの道義性 もうひとつの資本主義をめぐる人類学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 SYNODOS (オンラインジャーナル)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計33件 (うち招待講演 20件 / うち国際学会 11件)

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 投擲的な相互支援を組織する 香港・中国南部の東アフリカ系住民による組合活動を事例に
3. 学会等名 日本文化人類学会第53回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 香港のタンザニア人による投擲的なコミュニケーションとコミュニティ
3. 学会等名 国際ワークショップ『東アジアにおける移動と交易 多文化空間、場所、アイデンティティの動態に着目して (国際学会)』
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大竹文雄・稲葉圭信・大内伸哉・小川さやか
2. 発表標題 これからの時代をどう生きるか 宗教×労働×その日暮らし
3. 学会等名 サントリー文化財団設立40周年記念事業『学芸ライブ』(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 無条件であることの条件を追求する タンザニア人の商売とその日暮らしを事例に
3. 学会等名 大阪大学社会ソリューションイニシアティブSSIサロン『アフリカ 未来社会』（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 「その日暮らし」の経済から考える私たちの社会 香港の地下経済と日本の未来
3. 学会等名 関西教育セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 よそ者から学ぶー香港のアフリカ系交易人の事例から
3. 学会等名 ハフポスト日本版企画『よそ者から学ぶ』（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 窮地におけるシェアの実践とセルフ観ータンザニア人商人の事例から
3. 学会等名 立命館アジア太平洋大学社会連携セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 被調査者のオートエスノグラフィーに参与する事 SNS上で紡がれる香港在住のタンザニア人たちのライフヒストリーを事例に
3. 学会等名 日本文化人類学会第52回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 自動翻訳ツールにできないこと 自言語による人類学の可能性
3. 学会等名 韓国文化人類学会2018年春季大会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 その日暮らしの生き方と働き方
3. 学会等名 千葉県生産性本部主催『トップマネジメントクラブ』4月例会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 タンザニアにおけるオルタナティブな路上空間の創出
3. 学会等名 (株)56設計社主催『誰のものでもある場所の現在 アフリカ、ジャカルタ、京都から考える』（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 その日暮らしの人類学 不確実な世界を生きぬく知恵と共同性
3. 学会等名 東進ゼミナール主催『大学学部研究会』（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 香港に乗り出したタンザニア人によるシェアリング経済
3. 学会等名 京都精華大学主催『連続講座 現代アフリカのパワーと可能性を知る～ビジネスの視点から～』（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 The Logic of "Open Reciprocity": Case Study on the Sharing Economy and "Platform-liked Civil Society" among Tanzanians in Hong Kong
3. 学会等名 Special Seminar in Department of Anthropology, Yonsei University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 When the Auto-Ethnography of Anthropologist Intersect with the Auto-Ethnography of Investigator: A Case Study of SNS of Tanzanians in Hong Kong
3. 学会等名 Special Seminar in Department of Anthropology, Seoul National University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 信頼とずる賢さ タンザニアにおける異質な他者とともに生きる技法
3. 学会等名 平成30年度滋賀県更生保護事業関係者顕彰式典（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 未来の人類社会のあり方 タンザニア商人の生き方に学ぶ
3. 学会等名 世界思想社教学社創業70周年記念パーティ（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 研究するための狡知 フィールドワークから論文化まで
3. 学会等名 関西学院大学主催ワークショップ『フィールドワーカーのための課題解決のフレームワーク』（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 文化人類学一般公開シンポジウム『現在・未来の経済社会に向けた人類学的知の再構築 ブロックチェーンからシェアリング経済まで』
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか、椿昇、白くま先生
2. 発表標題 ずる賢いのは悪い事？ 文化人類学と芸術から学ぶ不確実な世界でのサヴァイヴァル
3. 学会等名 金沢21世紀美術館アートスクール『魔法のコスチューム』特別企画こたつ座談会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 Sharing Economy and Platform-Civil Society among Tanzanians in Hong Kong
3. 学会等名 一橋大学経済研究所主催『経済発展研究会』（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 The logic of "Open Reciprocity" in the Business Practice and Communality of Tanzanian Traders in China and Hong Kong: With the Special Reference to the Used Car Trading through the Crowdfunding
3. 学会等名 International Symposium France-Japan Area Study Forum（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 Timber Marketing in Local Growth Pole, Arusha City, Arusha Region
3. 学会等名 International Workshop on Emerging "Local Initiative" with Resource Management in Tanzania（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 The Logic of "Open Reciprocity" of the Tanzanian Union in Hong Kong and China
3. 学会等名 International Union of Anthropology and Ethnology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 『ケータイは私のオフィス』 香港・中国のタンザニア人たちのビジネスとコミュニティ
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 アフリカの古着流通 タンザニアを事例に
3. 学会等名 持続可能な消費社会、地域資源発掘ASAA、主婦連合会、主婦会館主催 『古着回収はどうあるべきか連続講座第3回』 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 不確実な都市を生きぬくヒント
3. 学会等名 株式会社ロフトワーク主催 『不確実性の為のツールボックスno.1』 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 瀬戸際の狡知と笑い
3. 学会等名 京都芸術センター『内臓語にもぐる旅』（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 タンザニアにおけるオルタナティブな路上空間のつくりかた
3. 学会等名 ミサワホーム近畿株式会社主催『都市のインフォーマリティが生みだすオルタナティブ』（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 The System of Circulating "Dept" among Friends: The Business Practices and Communality of Tanzanian Dealers in Hong Kong and China
3. 学会等名 Special lecture (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sayaka Ogawa
2. 発表標題 Copy Mobile Phone, Tanzania and China
3. 学会等名 International Workshop "Low-end Globalization on Three Continents" (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 「負債」から「借り」へ タンザニアにおける携帯を通じた送金システム (M-pesa) を事例に
3. 学会等名 日本アフリカ学会第53回学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小川さやか
2. 発表標題 Living for Todayの人類学ー不確実な世界を生き抜くための狡知
3. 学会等名 キャリアサポートセンターにおける講演会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 小川 さやか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 春秋社	5. 総ページ数 276
3. 書名 チョンキンマンションのボスは知っている	

1. 著者名 中牧弘充編 (小川さやか)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 432
3. 書名 世界の暦文化事典	

1. 著者名 島田周平・上田元編（小川さやか）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 163
3. 書名 世界の地誌シリーズ アフリカ	

1. 著者名 小川さやか	4. 発行年 2016年
2. 出版社 光文社	5. 総ページ数 222
3. 書名 「その日暮らし」の人類学 もう一つの資本主義経済	

1. 著者名 稲賀繁美, 多田伊織, 鈴木洋二, 片岡真伊, 山田奨治, 新井菜穂子, 森洋久, 藤原貞朗, 山中百里子, 近藤貴子, 呉孟晋, 平芳幸浩, リカル・ブル, 林洋子, 小川さやか, 山内進, フレデリック・クレインス, 榎本渉, 滝澤修身, 平松秀樹, 劉建輝, 二村淳子, ヘレナ・チャブコヴァー, 江口久美, 山崎佳代子, 李建志, 今泉宜子他9名	4. 発行年 2017年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 852
3. 書名 海賊史観からみた世界史の再構築 交易と情報流通の現在を問い直す	

〔産業財産権〕

〔その他〕

立命館大学研究者データベース <a href="http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/103/0010298/profile.html">http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/103/0010298/profile.html</a> 立命館大学先端総合学術研究科ホームページ <a href="https://www.r-gscefs.jp/?p=3561">https://www.r-gscefs.jp/?p=3561</a> 立命館大学先端総合学術研究科 小川さやか <a href="http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/103/0010298/profile.html">http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/103/0010298/profile.html</a> 小川さやか 立命館大学 <a href="http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/103/0010298/profile.html">http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/103/0010298/profile.html</a>
---

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----